

やいはば

議会だよ

211
2020. 1. 16
岩手県
矢巾町議会



煙山保育園お楽しみ会
(関連記事… P24)

所管事務視察研修報告
住みよいまちづくりのために 2

12月会議
社会情勢に沿った組織機構改革へ 6

一般質問12議員 町政を問う
新年度の重点事業は 10

づくりのために

2つの常任委員会が所管の課題解決を見出すため、先進地を視察研修してきました。

総務常任
委員会

公共施設老朽化の 対策を考える

〜将来負担にならないために〜

研修目的

本町の各公共施設の老朽化対策として公共施設等総合管理計画を策定した。

今年度は、各施設の個別計画が策定されるため、先進地の取り組みを研修する。

調査報告

三芳町は都心に近く、昭和40年代から人口増加により多くの公共施設が建設された。近年は老朽化による修繕要望の増加で、公共施設マネジメント基本方針、同計画を策定した。

策定には各課職員と事務局でワーキングチームを設置し、中学生以上を対象にアンケート

ト調査や住民ワークショップなどを実施した。

現在は施設の在り方について、モデル地区での検討会や住民説明会などを行い、将来住民の負担にならないよう実施に向け取り組み中である。

視察を終えて

本町でのワーキングチーム設置は、職員数を考えると業務量が過大ではあるが、全体で取り組むことでの効果が大きいと考える。

また、自分たちの将来を考えることを目的とした中学生以上のワークショップは参考にするべきと考える。

視察日：10月8日(火)
いるま みよしまち
埼玉県入間郡三芳町



三芳町の担当者から説明を受ける

自らの命は自ら守る

～犠牲者ゼロの活動～

総務常任
委員会

視察日：10月9日(水)
さいま さかいまち
茨城県猿島郡境町

研修目的

災害対応では、地域住民との連携が必要不可欠であるため、自主防災の取り組みを研修する。

調査報告

利根川と江戸川の分岐点に位置する境町は、平成27年の関東東北豪雨災害で甚大な被害に遭い、死傷者4名、床上床下浸水が61%、農畜産物を含め被害総額は約20億円となった。

そのため「自らの命は自ら守る！」を基本に、「逃げどきハザードマップ」の作成や防



一次避難用の水害避難タワーを見学

視察を終えて

本町でも犠牲者を出さないために、きめ細かい配慮をしながら、できるだけ要配慮者を助けられるような名簿作成に取り組みたいと考える。

災アプリの導入、自主防災組織主催による防災訓練等を実施している。

要配慮者*に対し地域の支援体制が重要と考え、地域一体で犠牲者ゼロを目指し、同意を得た要配慮者の名簿を各行政区長や民生委員に「個人情報」として配布している。

*要配慮者：高齢者、障がい者、乳幼児などの防災施策において配慮を要する方

住みよいまち

教育民生
常任委員会

視察日：10月23日(水)～24日(木)
埼玉県比企郡滑川町、群馬県渋川市

給食費無償化の取り組み

子育て支援で学力向上



滑川町の担当者から説明を受ける

研修目的

本町の子育て支援の充実に
向けて、給食費完全無償化と
いう積極的な事例を研修する。

調査報告

滑川町は幼児から中学校ま
での給食費を無償にしており、
一般会計の2パーセント(約
2億円強)を支出している。
その他にも、医療費の無償
化に取り組み、合計特殊出生
率は県内トップ。また、転入
者も多いという。
小中学校では校内活動が非
常によくなり、学力は県内上
位まで向上している。

視察を終えて

渋川市は小中学生を対象と
した給食費無償化を実施して
いたが、滑川町ともに自治体
首長の強いリーダーシップと
住民の理解があつて実現でき
たものと感じた。

仮に本町で小中学校の給食
費を無償にすると想定した場
合の試算では、約1億100
0万円の支出が見込まれてい
る。また、開始後継続するも
のと考えれば、財源が限られ
ており、他事業の財政的なこ
とも含め検討が必要であると
考える。

研修目的

核家族化の増加や社会状況
の変化に伴い、子育て機能を
支援する事例を研修する。

調査報告

子育てを手伝ってほしい人
と支援したい人が会員にな
り、有償で一時的に支援する
ファミリーサポート事業を実
施している。保育施設の開始

地域で子育て ファミリーサポート ～預かりや送迎を支援～

視察日：10月23日(水)～24日(木)
埼玉県比企郡滑川町、
群馬県渋川市、沼田市

教育民生
常任委員会



渋川市の子育て支援総合センターを視察

視察を終えて

今回視察した3市町とも
ファミリーサポート事業に取
り組んでおり、共働きや核家
族世帯などの子育てを支援す
る体制を整えていた。

本町においても子育て世代
の負担軽減に必要なサービ
スと考え、早期に構築を図る
べきと改めて感じた。

頂点を目指して！全国大会出場に補助

10月2日に開催された10月会議では、工事請負変更契約が議決されました。また、11月11日の11月会議では一般会計補正予算が議決され、11月14日の11月第2回会議では第7次矢巾町総合計画後期基本計画策定調査特別委員会が設置されました。

10月会議

工事請負契約

公共施設等省エネルギー
改修工事その3工事変更

消費税率改正により消費税
額分が増額になりました。

11月会議

補正予算

主な歳入

▽財政調整基金繰入金

479万円

主な歳出

▼児童生徒各種大会

参加費補助金

479万円

主な質疑

質問 各種大会参加費補助金の対象は何か。

回答 交通費で県大会出場以上を対象。

煙山小学校吹奏楽部の全国大会出場のほか、今後予定されている矢巾北中学校の駅伝など3月までを対象。

質問 参加する児童生徒の個人負担はあるか。

回答 交通費の8割は補助、2割が保護者負担であるが、その負担の相談も受けている。各クラブに対する8割補助は県内でも高い割合である。



金賞受賞のメモリアルコンサートに向けて（煙山小学校吹奏楽部）

特別委員会設置

第7次矢巾町総合計画後期基本
計画策定調査特別委員会を設置

まちづくりのすべての基本である第7次総合計画の後期基本計画は今年度策定します。策定の過程から参加し政策提言をする必要があることから、特別委員会を設置し調査、提言することになりました。

12月会議

条例

教育委員会の職務権限の
特例に関する条例

（関連記事…P6～7）

児童の通学安全確保へ

12月3日から13日の11日間で開催された12月会議では、令和2年度の組織機構改革に伴う関係条例などを含む15条例、指定管理者の指定2件について議決しました。

また、補正予算は一般会計、2特別会計、2企業会計が提案され、審議は予算決算常任委員会に付託し可決されました。一般会計の総額は約126億8571万円となりました。

組織機構を 変える理由は

質問 現在の組織でもスポーツや文化を発展させることは可能と思われるが、変える理由は。

回答 町長部局の施策と文化、スポーツを連携し、福祉を含めた人づくりやコミュニティづくりなどをより効果的に実行するため。

反対討論

個人の要望や社会の要請に応え、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体において証明されなければならない。

教育の目的は町づくり、国づくりではなく、あくまでも個人の人格の完成が最も重要なことであるため、社会教育を教育委員会から移すことに反対する。

小川 文子

反対討論

条例は執行者の都合により制定されることが多いように

思う。今回の条例は町民に対して根気よく説明することが足りないことから、しっかりとした説明を求め反対とする。

昆 秀一

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽児童福祉施設整備補助金 1769万8千円
- ▽土地売却収入 4023万9千円
- ▽一般寄附金 3000万円

主な歳出

- ▼私立保育園等施設 整備補助金 2335万1千円
- ▼特産品開発業務委託料 280万円
- ▼交通安全施設整備事業 工事請負費 138万1千円

▼インフルエンザ

予防接種委託料 1477万6千円

主な質疑

質問 特産品開発業務の委託先と商品内容は。

回答 委託先は矢巾観光開発株式会社である。

内容は町内産キクラゲの佃煮やシイタケ入りのソーセージ、矢巾おでんの商品化などである。

質問 一般寄附の内容は何か。

また、楽器のクラウドファンディングも含まれているか。

回答 広宮沢第二土地画整理組合が竣工解散することによる寄附である。クラウドファンディングは含まれていない。

質問 交通安全施設整備事業の内容は。

回答 煙山小学校周辺のゾーン30で、区域については西は不動盛岡線、北は安庭線、東は安庭線・下海老沼線、南は赤林室岡線・岩崎川までを予

定している。新入学時に間に合うように行う。



開館30周年を迎える田園ホール

指定管理者の指定

矢巾地区農業構造改善センター

土橋自治会

矢巾町文化会館

東北共立・寿広グループ

ともに5年間指定管理者とします。

組織機構改革へ

12月会議では組織機構改革に関する条例を審議した結果、すべての条例が可決され令和2年度から新しい組織体制になります。(関連記事P4～P5)

令和2年度

所 属	執行機関
総務課 防災安全室	町 長
企画財政課 未来戦略室	
税務課	
町民環境課	
福祉課	
健康長寿課	
産業観光課	
道路住宅課 まちづくり推進室	
文化スポーツ課	
出納室	
議会事務局	議 会
監査委員事務局	監査委員
学校教育課 小中学校	教育委員会
子ども課 煙山保育園	
学校給食共同調理場	
農業委員会事務局	農業委員会
選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会
上下水道課	公営企業

2

コミュニティ
会長
行政区長
自治公民館長

機構改革のねらい

- 町民がわかりやすく、理解しやすい。
- 関連業務の連携、効率化による組織強化。
- 社会変化、政策課題に対する取り組み強化。

その他のポイント

- 国民健康保険、後期高齢者医療保険は保険者（住民課）と事業実施担当（健康長寿課）を同じ課とし健康長寿課が一体的に行います。
国民健康保険の加入や脱退の手続きは町民環境課で行います。
- 福祉課は介護、障がい、子育て、生活困窮など幅広い相談に対応する窓口を設置します。
- 土地利用や空き家対策を含む住宅政策推進のため道路都市課を道路住宅課に変更し、課内にまちづくり推進室を設置します。
- 監査を強化するため監査委員事務局を設置します。

※変更部分をピンク色で表示

第7次総合計画実現のため

社会情勢に沿った

令和元年度

執行機関	所 属	
町 長	総務課 防災安全室	行政区長
	企画財政課 未来戦略室	コミュニティ 会長
	税務課	
	住民課	
	福祉・子ども課 煙山保育園 子育て支援センター	①
	健康長寿課	
	産業振興課	
	道路都市課	
	特命担当	
会計管理者	出納室	
議 会	議会事務局	
監査委員		
教育委員会	学務課 小中学校	
	社会教育課 矢巾町公民館	自治公民館長
	学校給食共同調理場	
農業委員会	農業委員会事務局	
選挙管理委員会	選挙管理委員会事務局	
公営企業	上下水道課	

ポイント ①

教育委員会に子ども課（子育て支援センター機能を含む）を設置し、子育てと教育を切れ目なく支援します。

福祉・子ども課は福祉課と子ども課に分けます。

ポイント ②

それぞれの課で担当しているコミュニティ会長（企画財政課）、行政区長（総務課）、公民館長（社会教育課）を企画財政課に一本化し自治会や自治公民館活動を支援します。

ポイント ③

教育委員会の社会教育課を町長部局へ文化スポーツ課として設置し、町長部局の政策と連携しながら、生涯学習、スポーツ推進、健康づくり等を推進します。

みなさんからの請願・陳情

三島神社付近の三差路

議会で決めたこと

▽道路拡張に関する請願
請願者

白沢住民自治会

会長 廣田

紹介議員 村松

吉田

喜博

清

一

採択

審査意見

三島神社付近の三差路は、交通量が多いが横断歩道が設置されていない。また、東側付近は道路の幅員が狭く、危険な状況となっている。

なお、請願事項に含まれていないが、馬場橋についても拡幅整備が必要である。

交通事故の未然防止、さらには児童生徒など地域住民の安全安心な環境の確保を図るため、道路拡幅や歩道設置などの整備が必要であると判断した。

以上のことから、本請願の趣旨は理解できるものである。

▽「気候非常事態宣言」を求める請願
請願者

グローバル気候マーチIN岩手

代表 高橋望実

紹介議員 谷上

川村

よし子

藤原

梅昭

採択

審査意見

温室効果ガス等の排出量の増加による異常気象で、ここ数年集中豪雨や猛暑、巨大台風による大きな被害が発生し、全国で甚大な被害が出ている状況である。

今年の台風19号をはじめとする突然の豪雨や暴風により、農作物のほか住居にも甚大な被害が発生した。以上のことから本町においても防災に力を入れている。

このことから「気候非常事態宣言」を出すことにより、子どもから高齢者まで、すべての町民に周知徹底し、地球

規模で起こっている環境問題を意識するとともに、その対策について取り組むことは大変重要と考えることから、本請願の趣旨は理解できるものである。

反対討論

気候変動の非常事態を町民に周知させる必要があるが、その対策を示さなければ町民の不安をおおるだけである。エネルギー対策は国の政策であり、具体策がないため、町に意見書を上げる内容でないことから反対する。

小笠原 佳子

賛成討論

現在、地球に起きている気候変動は温暖化によるものであり、対策は待ったなしの状況である。

矢巾町においても環境問題を周知する必要があることから気候危機に対して「気候非常事態宣言」をするべきと考

昆 秀一

▽私学教育を充実・発展させるための陳情
陳情者

私学助成をすすめる岩手の会

会長 土屋直人

採択

審査意見

私学と公立の学費格差は依然として大きく、私立高校は、授業料に加えて高額な施設設備費、教育維持費等があり、現行の就学支援金だけでは公私間格差は是正されない。公立でも私立でも学費を心配せず生徒が安心して学べる環境にしなければならない。

少子化進行の中で、公立・私立を問わず学校存立の危機がどの市町村でも迫っている。学校がなくなることは、その地域全体の過疎に拍車をかけ、地域の振興という点からも憂慮すべき事態である。

以上のことから、本陳情の趣旨は理解できるものである。

各議案の採決状況

令和元年定例会10月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		藤原 信悦	吉田 喜博	小笠原 佳子	谷上 知子	村松 信一	廣田 清実	高橋 安子	水本 淳一	赤丸 秀雄	昆 秀一	藤原 梅昭	長谷川 和男	川村 よし子	小川 文子		山崎 道夫	廣田 光男	高橋 七郎
第106号	公共施設等省エネルギー改修その3工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和元年定例会11月会議

第107号	令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第5号	第7次矢巾町総合計画後期基本計画策定調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可

令和元年定例会12月会議

第108号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第109号	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第110号	矢巾町教育委員会の職務権限の特例に関する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第111号	矢巾町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第112号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第113号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第114号	矢巾町成年後見制度の利用の促進に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第115号	矢巾総合射撃場設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第116号	矢巾町文化財保護審議会設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第117号	矢巾町固定資産評価審査委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第118号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第119号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第120号	矢巾町道路占用料に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第121号	矢巾町課設置に関する条例等の一部を改正する等の条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第122号	矢巾町水路条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第123号	矢巾町手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第124号	矢巾町監査委員条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第125号	矢巾地区農業構造センターに係る指定管理者の指定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第126号	矢巾町文化会館に係る指定管理者の指定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第127号	令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第128号	令和元年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第129号	令和元年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第130号	令和元年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第131号	令和元年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第132号	令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第6号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第7号	町道羽毛蓬田線等の整備に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第8号	「気候非常事態宣言」を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第9号	私学助成の充実についての意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。
12月会議では12人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●村松信一議員…………… P11

- ①令和2年度当初予算編成
- ②保健福祉施策推進上の課題等
- ③岩手医科大学附属病院の総合移転への対応

●赤丸秀雄議員…………… P13

- ①子育て世帯への更なる支援施策
- ②ごみ減量への取り組み強化
- ③教育環境改善などの取り組み
- ④町施設の電気料削減の推進

●廣田清実議員…………… P15

- ①市街化区域の町有地の活用
- ②学力向上の取り組み

●山崎道夫議員…………… P17

- ①移住支援の取り組み
- ②プログラミング教育に向けた取り組み
- ③コメの消費拡大に向けた取り組み

●小川文子議員…………… P19

- ①デマンドタクシーの改善と市街地循環バスの試験運行
- ②南昌グリーンハイツの改修を
- ③加齢性難聴者に補聴器支援を

●川村よし子議員…………… P21

- ①保育園等の副食費無償化
- ②学校給食費の無償化
- ③日米貿易協定と農業者支援

●昆秀一議員…………… P12

- ①岩手医科大学附属病院移転による効果
- ②補助金について
- ③性について
- ④心のケアについて

●小笠原佳子議員…………… P14

- ①除雪について
- ②医療費等の扶助費の削減

●高橋安子議員…………… P16

- ①多世代型地域包括支援体制
- ②アンテナショップ開設
- ③煙山ひまわりパークの観光振興

●藤原信悦議員…………… P18

- ①徳丹城跡周辺及び藤沢狄森古墳群の整備と地域活性化
- ②市街化調整区域における地区計画制度による企業誘致

●谷上知子議員…………… P20

- ①女性消防団の活動
- ②除雪と排雪について
- ③交通渋滞緩和と安全な通学路

●藤原梅昭議員…………… P22

- ①町民の命と財産を守る「セーフティファースト」安全第一の対応状況
- ②職員力を活かした町政運営

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。☎019-611-2801

新年度の重点事業は 健康・医療のヘルスケア



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)

質問 新年度予算編成において取り組む重点事業は何か。

町長 人口3万人を目指した土地利用政策、交通安全施設や生活道路の整備、健康寿命の延伸、公共施設長寿命化に向けた設備更新、ファミリーサポートセンター事業、中学生平和学習派遣事業、田園ホール30周年記念事業、地域包括支援の強化等である。

質問 町民懇談会などの意見や予算決算審査報告書の附帯決議について、新年度予算にどう反映させるのか。

町長 町内保育園、自治公民館へのエアコン設置や河川の中州除去、道路整備等について反映できるようにしたい。

質問 新年度から健康診断の実施方法の見直しをするとしているがどのようになるか。

町長 特定健診などを個人病院でも受けられる他、夏場は暑さ対策として環境の整った、さわやかハウスで一定期間、実施し受診率を高めたい。



暑さ対策等で各検診会場の改善が望まれる (矢巾3区公民館)

質問 いわて県民計画はガン・心疾患・脳血管疾患の死亡率に関し新目標を盛り込んでいるが、本町の予防施策との整合性、設定目標の考えは。

町長 本町は県の死亡率より低い全国より高く、国の年齢別調整死亡率の格差を縮小

するよう取り組む。

また、特定健診、保健指導事業が重要であり生活習慣病の早期発見と予防に取り組む。

医大周辺の交通安全対策は警察等関係団体と協議する

質問 医大総合移転に伴い郊外道路の混雑が著しい。交通量増加に対する安全対策は。

町長 周辺道路の交通量調査を実施中であり、分析により地域の要望や警察、国、県および町の道路管理者と安全対策を協議する。

質問 医大開業により新たなイベントの計画や新規事業の考えは。

町長 医大敷地内の商業スペース「トクタヴェール」を活用し、農産物等を販売する出前産直、特産品試食販売、各種作品の展示、音楽発表会等多種多様なイベントを開催する。

補助事業の効果は 過去の資料などで検証



こん 昆 議員
しゅういち 秀一 議員
(一心会)



子育て支援に活用されている補助金（ぐらんまえんハロウィン）

質問 福祉関連の補助事業の効果については、町民の福祉増進にどのように寄与されているのかを厳密に検証する必要性がある。

町長 過去の決算資料や事業証をどう行っているのか。

実績をまとめた資料の提出を求め、補助事業の効果について検証を行っている。

質問 財政援助団体等に対する監査はどのように行っているのか。

監査委員 財政援助団体等に対する監査は実施していないが、定期監査において担当課から補助金に関する資料の提出を求めて聞き取り調査を行っている。

質問 補助金は一回もらうと既得権を得やすくなる。社会情勢も変わってくるので、年度ごとに一度ゼロベースにして改めて必要な補助を行っているかどうか。

町長 現時点ではゼロベースは難しい。今後はゼロベースを念頭に補助をしていきたい。

学校での性教育の状況は

授業などで理解を深めている

質問 今まで性に関することはタブー視されてきたが、新生児が遺棄されて亡くなる事件もあることから、学校での性教育の状況を問う。

教育長 基本的には、学習指導要領に基づき授業を行っている。授業以外にも思春期に関する講演を行い、性に関する理解を深めている。

質問 障がいを持っている方に対しては、過去に旧優生保護法によって強制避妊手術が行われてきた歴史がある。障がいを持っている方については、現在ほどのような支援を行っているのか。

町長 性に関し、成長過程での体の変化に対する戸惑いや、異性との適度な距離感の取り方などに困惑を感じている方が多いと思われる。

本人への助言だけでなく、家族などに対して障がいの特性や困りごとの状況に応じて相談支援を実施している。

ファミリーサポート事業を ニーズや運営方法を調査する



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄
(一心会)

【質問】 共働きや核家族環境の若い世帯に対しファミリーサポート体制が必要であると考
えるが現在の状況は。

【町長】 ファミリーサポート・センター事業（P3参照）については、多様化する子育て世代のニーズに対応すべく、来年度からの実施に向けて関係機関との調整を進めている。

【質問】 3歳児未満、特に0歳児の小さな子どもの保育体制の充実が必要であると考え
るが、来年度において定員数増の
目は立ったのか伺う。

【町長】 施設整備事業により来春は9名の増員が可能となっているが、さらに小規模保育施設との調整を進めている。



施設整備事業により定員増となる小規模保育事業者
(ベビーハウスMoi 流通センター)

生ごみ減量 臭い対策は

水切り回収と 臭い削減方法検証

【質問】 生ごみの水切り回収や臭い削減の対策を早急に実施

するとの話があったが、その実施時期は。

【町長】 現在も検証中であるが
目途は付いた。回収方法や普及啓発を進めながら、遅くとも令和2年1月には実施したいと考えている。

ごみ出し困難者 支援は

実態を把握し対応

【質問】 高齢者の中には資源庫までの運搬手段がなく、やむなく燃えるゴミ等に出している状況が見られる。その対応策について伺う。

【町長】 実態を再度把握し、自治会などの協力を得て3R（発生抑制・再使用・再生利用）の推進強化に努める。

通学路の照明は 町経費で

防犯灯設置に

半額補助

【質問】 通学路の照明は安全に配慮し、町が全額負担で早急に設置すべきと考えるが。

【町長】 地域自らが防犯に取り
組むものとして、その自主性を尊重していく。現地
の状況を把握し、地元自治会と協議を行い、安全対策に努める。

除雪への対策を問う

道路交通の障害解消に努める



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)

質問 除雪の出動基準は。

町長 降雪が10センチまたは5センチを超え連続降雪が予想される場合。風速15メートル以上で路面に吹き溜まりが発生した場合。

質問 委託業者は路線により固定されているのか。苦情の状況は。

町長 安全でスムーズな作業を行うため、ほぼ固定されている。苦情の件数は平成29年度252件、平成30年度32件。内容は「遅い」「玄関先に雪を置かれた」が主であり、出入口の除雪については、町民のご理解とご協力をいただきたい。

質問 今年度の委託業者の状



除雪シーズンにむけて安全祈願を行う（矢巾町建設業協議会）

町長 況、技術向上のための指導は。32社、除雪機械68台にオペレーター98名。労働安全衛生法による技能講習を受講している。

質問 高齢者宅の除雪対策は。

町長 日常生活援助事業として、シルバー人材センターに委託して行っている。なお自己負担金はない。

質問 岩手医科大学周辺について、除雪の基準は他の町道と同様か。

町長 緊急車両の通行が予想されることから凍結防止剤の散布や、5センチの降雪量で出動するなど対策を講じる。

質問 行政区ごとに除雪機を貸与する考えは。

町長 希望する行政区に6台貸与している。現在あと1台貸与可能である。

医療費の削減について

メディカル
フィットネスで健康

質問 メディカルフィットネス推進事業により、健康寿命を伸ばし、医療費削減につながるものが望ましい。

多くの町民に利用してもらうため、利用料金を町民以外の利用者より安価にする考えはないか。

町長 3月1日オープン予定のメディカルフィットネス施設は、町民向けの料金を町民以外の料金と比較して安く設定し健康増進を図りたい。



ひろた きよみ 議員
廣田 清実 (町民の会)

旧矢巾中学校跡地の活用は 今後検討委員会で進める

質問 岩手医科大学の開院に伴い、定住を希望する人が増えている。移住促進対策が急がれることから、市街化区域内の旧矢巾中学校跡地の活用について問う。

また、6月会議において検討委員会で検討して方針を示すと答弁を頂いたが、検討委員会の活動進捗状況は。

町長 現在検討委員会に諮るのは、個々の資産の具体的な方策が決定し、一定規模以上のものと考えている。

なお、現時点では具体的な検討をしているところで検討委員会は開催していない。

旧矢巾中学校跡地についても多様な可能性を持った土地であることから、慎重に決定

するため検討委員会の開催は遅れている。

質問 検討委員会のメンバー構成と進捗状況は。

町長 検討委員会の構成は有識者、地元自治会関係者、地域町民などを考えている。検



有効活用が望まれるかっこうグラウンド (旧矢巾中学校跡地)

討委員も決定していない。

質問 検討委員も決まっていないということは後手、後手だと思いが今後の対応は。

町長 速やかに検討委員会を立ち上げて今年度中に委員会を開催する。

学力向上の 取り組みは 組織的な取り組みで

質問 本町は複数の学習塾があり学習環境に恵まれているが学力は県平均と聞いている。今後、さらに小中学生の学力向上のための対応は。

教育長 学年ごとに学力調査の結果を見て、どのような面で「つまづき」があるか分析・把握し、その内容をもとに学校に支援している。

また、授業の改善のほか児童生徒一人ひとりの学習に関する状況や課題を全職員が共有するなど組織的な取り組みが重要と捉えている。

質問 今後の取り組みを強化するために矢巾型教育プログラムをつくり「教育のまち」宣言をしてはどうか。

町長 今後、教育の体制を整え、自然に学習でき学力向上の取り組みができ、環境が整った時に対応していきたい。

多世代型地域包括支援は 18組織で実施



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)

質問 本年度から実施の地区公民館等を拠点とした「エン(縁)ジョイやばネットワーク」事業の取り組み状況は。

町長 11月末現在では、17地区18組織で実施している。

質問 多世代間で交流を行っているが、参加者および開催状況は。

町長 参加者はほとんどが高齢者主体であるが、15地区で地域の季節行事にあわせて多世代間の交流を行っている。

質問 高齢者の交通事故があとを絶たない中、冬道は歩くことも車での移動も危険と思われる。町民懇談会では、ゲストスピーカーから公民館等への送迎について、町内介護

施設や企業に協力依頼の貴重な意見があったがそれに対する検討は。

町長 現在、2社から協力の申し出がある。

今後、保険等の詳細を検討し、実現に向けていきたい。

四季を楽しむ「煙山ひまわりパーク」に花の種類を工夫しにぎわうよう努める

質問 ひまわりの季節は2週間ほどで荒れた畑になる。四季を通して楽しめる花の考えは。本町を訪れた方を花で癒せる場所にはどうか。

町長 本年、桜の木を10本植栽した。今後も花の種類を工夫しながら、にぎわいの創出に努める。

質問 南側駐車場の今後の整備計画は。

町長 イベントスペースの整備計画や南側に花木や花壇を整備する予定。

アンテナショップの開設は

トクタヴェールでも特産品販売

質問 本町の特産品のPRや観光、イベント情報の発信を

する「アンテナショップ」を開設する考えはあるか。

町長 アンテナショップについては14カ所あり、道の駅開設と併せて関係機関と協議していきたい。現在は、観光協会が中心となって「観光案内所」の設置を予定している。



多世代間で体操を楽しむ煙山自治会（煙山公民館）



やまざき 山崎 議員
みちお 道夫 (一心会)

移住希望者を増やす政策を 矢巾町の長所を売り込む

質問 Uターン・Iターンを促し、地方を担ってもらう国の事業が今年度始まった。

首都圏から地方へ移り住む人に、最大100万円、起業するとさらに200万円が上乘せされる制度である。

移住希望者の受け入れは、3万人構想の実現や働き手の確保等重要な取り組みである。

移住希望者を1人でも増やすため、今後どのような政策を進める考えか。

町長 岩手医大附属病院を初めとする医療技術の高さ、スマートインターチェンジなどによる交通利便性の高さ、生活環境の良さといったセールスポイントがある。

この長所を積極的に売り込むため、移住に関する相談会

だけではなく、地元食材の物販販売やPRイベント等、連続性・継続性を持たせた事業を展開するとともに、移住希望者に矢巾町を認知してもらう機会を増やし、1人でも多くの移住希望者を増やす取り組みを進めていきたい。



盛岡エリア移住相談会で町のPR
(東京都千代田区 東京交通会館)

質問 移住者に対する矢巾町独自の支援策にはどのようなものがあるか。

町長 移住支援補助金、結婚新生活支援補助金、個人住宅取得資金利子補給金などがあり、県の補助金を含めると最高470万円の支援策がある。

どう進める
プログラミング教育

全小学校で
模擬授業実施

質問 来年度から小学校でプログラミング教育がスタートする。

対象は何年生で、年間何時間の授業になるのか。

教育長 小学校高学年を対象に、1年間で10時間程度を予定している。

質問 英語の教科化も合わせ、プレッシャーに感じる教員もいると思われる。

研修や模擬授業はどの程度行っているのか。

教育長 県総合教育センター指導主事の指導のもと、算数の授業において、煙山小学校で実施したが、今年度中には全小学校で実施する予定となっている。

また、校内研究として指導を希望する学校には、訪問指導を行い支援する。

徳丹城史跡整備で地域活性化

5カ年計画で緑化や復元などを行う



ふじわら しんえつ
藤原 信悦 議員
(町民の会)

質問 徳丹城跡及び周辺地域を含めた歴史公園化にあたり、地域の意見等も取り入れて進める考えはないか。

教育長 昨年度から知識経験者と地元協議会からの推薦者の9名からなる「史跡徳丹城整備活用指導委員会」を立ち上げ、内容を協議している。来年度から5カ年計画で、外郭西辺北半区に東西道路復元や遺構等の平面表示、緑地化整備等を行う予定である。また、史跡外の西側にある佐々木家曲り家の北側には、ガイダンス施設や駐車場の整備をする予定である。

質問 徳丹城跡に先行する藤沢狄森古墳群で唯一現存する第1号墳と徳丹城跡を一つの



唯一現存する藤沢狄森古墳

ゾーンとして整備・開発する考えはないか。

教育長 藤沢狄森古墳群は徳丹城跡との関わりが深い遺跡であることから、一つのゾーンとして捉えている。

来年度から徳丹城跡の第2次整備に合わせ、歴史的な関連性がわかるよう案内板を設置し、また、ゾーンとしての

案内表示の整備を図り、魅力の発信に努める。駐車場については、別途対応する。

地区計画制度の支援体制は

地権者の契約等も支援する

質問 地権者で土地の取引に精通する方は少ないと考えられる。地権者が不利な状況におかれることがないよう町当局の支援が必要と考えるが。

町長 この企業誘致は町が制定する地区計画が前提となることから、必ず町を通しての紹介となる。

企業紹介の前、およびその後についても支援できる体制を取り、地権者が不利な状況におかれることなく、契約後のトラブルが発生しないよう取り組んでいく。

質問 市街化調整区域における地区計画制度では、企業間取引を前提とする企業を誘致対象としているが、雇用の創出の少ない企業は誘致対象として吟味すべきと考えるが。

町長 市街化を促進するおそれがないものを前提としながらも、より多くの雇用や地域経済への貢献ができる企業を誘致すべきと考えている。

地権者の意向を尊重しながら、可能な限りそういった企業を紹介するように努める。

デマンドタクシー見直しの方向は 今年度中にまとめ、来春実施



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)



朝の利用客の多い市街地循環バス（矢幅駅東口）

直し見直しに取り組んでいることから、提言いただいている内容も協議しながら取り組んでいく。

軽微な改善は来年度4月から5月には取り組めるが、大きな変更には時間がかかる。

質問 市街地循環バスの利用状況は。

町長 1カ月の試行運転で1921人の利用があった。医大路線977人、医大から駅周辺が928人、駅から西側周辺が16人となっている。

**南島グリーンハイ
ツのプール改修を
費用面から難しい**

質問 年間1万人が利用した南島グリーンハイツのプールを、太陽光発電と組み合わせ、環境に配慮した温水プールとして改修できないか。

町長 老朽化に伴い大規模改修が見込まれることから廃止とした。

温水プールにすればさらに

多額に費用を要することから難しく、有効な活用案の意見をいただきながら西部地区の活性化に取り組む。

**加齢性難聴者に
補聴器支援を
国や県に要望する**

質問 軽度、中軽度難聴者への早期対策は認知症予防にもつながることから支援できないか。

町長 補聴器の支給や補聴器購入助成などの支援は、身体障害者手帳をお持ちの方が、障がい福祉制度を利用して購入する制度はあるが、加齢性難聴には支給する基準や財源確保などの課題もあり難しいと考える。

今後、支援制度の創設を国や県にも要望していく。
町としては、耳マークなど難聴が分かるマークを窓口に掲示し、筆談などで対応できるように配慮していく。

質問 デマンドタクシーは町民の要望に沿った改善が求められる。
戸口から戸口の運行とし、町内どこでも行けるようにすることや、料金の乗り合いによる値下げの改善の考えは。

町長 現在、専門分科会を設

女性消防団への支援を望む

訓練や研修の充実



やがみ ともこ 議員
谷上 知子 (令和やはば)

質問 女性消防団の団員数と年齢層は。

町長 女性消防団は14名所属し、14名のうち60代が4名、50代が5名、40代が3名、30代が1名、20代が1名である。団員の平均年齢は52歳となっている。

質問 防災技術向上のための研修内容は。

町長 軽可搬ポンプを利用した消防操法訓練、消火器による初期消火訓練、町民への応急救護技術の普及や応急手当普及員講習を受講している。全国女性消防団員活性化大会へ参加し、女性の視点からの防災に関する先進事例等を研修している。



消防演習で応急手当訓練する女性消防団員 (県消防学校)

高齢者の除雪対策は

シルバー人材センターに委託

質問 高齢者や体の不自由な方への除雪対策は。

町長 除雪作業に支援が必要な65歳以上の単身世帯や高齢

者のみの世帯等の住居については、玄関から道路までの除雪サービスを日常生活支援事業としてシルバー人材センターに委託して行っている。

質問 排雪のためトラック等による雪の運搬を実施する予定はないか。

町長 交通に支障を来すなど

排雪の必要があると判断した場合に、トラックなどを使い排雪している。

中央1号線の交通安全対策は

渋滞緩和と

安全な通学路に

質問 中央1号線医大前の信号機に、右折信号機と音響式信号機、歩行者用信号機が必要ではないか。

町長 町交通安全対策協議会の協議を踏まえ、紫波警察署に継続して要望していく。東小学校前の交差点に右折レーンを設置する予定である。

質問 医大周辺のアクセス道路の通行量が増加している。通学路の横断歩道について改善や設置の考えは。

町長 横断歩道は紫波警察署に要望を出している。他の道路も歩行者が安全に歩行できる環境づくりに配慮していく。



かわむらこ
川村よし子 議員
(日本共産党)

保育園等の副食費助成は 幼児教育・保育無償化制度により支援

質問 岩手県内27市町村で乳幼児副食費については半額または全額助成しているが、本町の取り組みは。

町長 所得割額の条件はあるが、副食費の助成に向けて議会の理解を得ながら進めていく。

質問 10月からの保育・幼児教育の無償化に伴い、保育料金に含まれていた副食費が実質徴収になった。

これにより低所得者や多子世帯等で、金銭的負担が多くなっている世帯はないのか。

町長 多子世帯の5世帯が、金銭的負担が多くなっており、町として副食費の助成を進めている。来年4月以降も保護者負担を軽減させていきたい。



1日に2400食を調理する矢巾町学校給食共同調理場

学校給食の 無償化を

調査・研究に
取り組む

質問 小中学生の給食を無償化した場合、過去に約1億1

000万円の経費が必要という答弁があったが、半額助成や小学校低学年への実施など前向きに取り組んでどうか。

教育長 全国では、子育て支援・人口減少対策などの観点から給食費無償化あるいは一部助成をしているところがある。

る。町として段階的な助成の実施の可否を含め他の導入している自治体の調査・研究に取り組んでいく。

新規農業者への 支援対策は

親元就農給付金
事業を創設

質問 農業者の高齢化が進み、農業後継のため新規就農者支援の拡大が必要である。新規就農者の確保・育成についてどう取り組んでいるのか。

町長 毎年2名〜3名が新規に就農し、そのうち4名が農業次世代投資資金を活用している。半年ごとに就農状況報告を受け、関係機関と連携し訪問支援している。

今年度より親から農業経営を継承する新規就農者を対象として、矢巾町親元就農給付金事業を創設し1名を認定している。将来の担い手である新規就農者について積極的に支援していく。

自然災害への対応は 台風19号では早めの避難を促した



ふじわら 藤原 議員
うめあき 梅昭 議員
(一心会)

質問 台風19号での警戒態勢及び避難所等の対応は。

町長 早朝に警戒対策本部を設置するとともに、さわやかハウスと矢巾東小学校、勤労者共同福祉センターの3カ所を避難所として開設し、明るい時間帯の避難を促した。夕方には災害対策本部に切り替え、庁内全課・消防団・自衛隊を加え警戒にあたった。避難者は最大時18世帯36名。

質問 台風19号での農産物を含む被害状況は。

町長 停電46戸、屋根損壊等は住家が13件、非住家が3件。農業関係では、リンゴの落果やビニールハウスの損壊が見られた。



台風19号により町内全域でリンゴ落果の被害が見られた

質問 バックウォーター（内水氾濫）現象の危険箇所は町内にあるのか。

町長 ごみ処理場付近の北上川と逆堰の合流点で、水位上昇により水が行き場を失う現象が確認されている。

質問 倒壊の恐れのある塀・立ち木・電柱等の対応状況は。

町長 立ち木や電柱は把握していない。ブロック塀について「注意」または「改善を要する」と判断されたところは53カ所あり、対応については平成18年度に策定した「矢巾

町耐震改修促進計画」で行う。また、町独自の補助金制度を運用できるよう進める。

地球温暖化への 取り組みは

CO2削減事業 で対応

質問 異常気象の要因にもなっている地球温暖化への取り組みは。

町長 CO2排出削減対策モデル事業において、照明器具のLED化、公共施設の太陽光発電、ごみ焼却時の発電、省エネ機器の導入や、燃やせるごみの削減のため自治会等が実施する資源回収に補助金を交付し取り組んでいる。

質問 COP25では、日本の対応を厳しく非難している。

当町でも「気候非常事態宣言」を速やかに発するべきではないか。（関連記事：P8）

町長 持続可能な社会（SDGs）の観点からも重要である事から対応していきたい。



町の発展が楽しみ



佐藤 桂子さん (南矢幅2区)
(この日は一般質問を傍聴しました)

12月5日、傍聴に来ていた方に議会の感想などをインタビューしました。
— 矢巾町には何年くらいお住まいですか。
佐藤さん 20年が過ぎました。以前は盛岡に住んでいました。

— 今日の議会を聞いて、どのように感じましたか。
佐藤さん ごみ減量の質問がありました。ごみの分別など私たち住民が最低限すべきことを意識して行うことが必要と感じました。
— 議員の皆さんが大事な課題について質問し、町長も丁寧に真摯に答え、様々なことがいい形で進んでいくのかなと期待が持てました。
— 議会や町に何か望むこと

とあります。どのよう
なことも結構です。
佐藤さん 地域のリーダーになつてくださるような人が育ち、大勢でなくても構わないので、若い方も含めた地域の交流がいま以上にできる町になったらいいなと思います。
また、冬になり雪道が心配になります。通学路などは特に安全を確保していただきたいと思います。
— 終わりに一言お願いします。
佐藤さん 自治会のなかには、団地内の除雪をボランティアで行っているという答弁がありました。朝早くからの作業には本当に感謝です。
お互いに行けるところは力を合わせて、みんなで行い組んでいきたいと感じました。
これからの矢巾町の発展を楽しみにしています。

議会広報モニターを募集

議会だよりなどについて、広く町民の皆さまからの意見・提言をお聞きし、より充実した議会広報づくりに反映させるため「議会広報モニター」を募集します。

- 応募資格 ①議会の仕組みやまちづくり、議会広報などに関心のある方
②18歳以上の町内在住、または町内にお勤めか在学中の方
- 任期 1年間
- 業務内容 年4回発行の議会だよりを読んでいただき、感想やご意見を文書やメール等で議会事務局へ提出いただきます。
- 募集人数 3～5人
- 申し込み・問い合わせ



令和2年3月31日(火)まで受け付けます。
お名前、ご住所、ご連絡先電話番号を電話やFAX、メール等で議会事務局へお知らせください。

矢巾町議会事務局 電話 019-611-2801
FAX 019-611-2809
メール gikai@town.yahaba.iwate.jp



矢幅駅に季節の花を活ける筆者（駅2階 通路）

活け花ボランティア

すずきよし え 鈴木 由枝 さん（矢巾2区）

地域の方々に感謝をこめて

足早に改札口に向かう人、人、現在の矢幅駅はここ数年で目覚しく発展した矢巾町の玄関口です。ラッシュ時には乗降客の列が続いています。中には立ち止まって「お花変わったね、もうクリスマスだね」とニコニコして声をかけてくれる方、とても嬉しく思います。活け終わると次は何の花にしようか、どの花器がいいかと考えるのも楽しいことです。

私の活け花ボランティアのきっかけは、旧国鉄矢幅駅舎時代から30年以上も季節の花を飾り続けた横澤敏子（敏水）先生が体調をくずされ、そのあとを引き継ぎ10年ほどになりました。私は昭和30年に盛岡市から矢巾村立煙山小学校6年生に転校し、隣接する煙山中学校に渡り板を渡って進級しました。煙山、徳田、不動が矢巾町立矢巾中学校に統合される前の最後の卒業生の一人です。60年も前、朝礼では、校訓・責任・友情・奉仕を称える校歌「青雲に高く」をみなで歌いました。

昨年は「祝喜寿」の同級会に県内外から34名の参加があり、校歌が歌い継がれていました。当時は何もかも不足の世界の中でしたが、皆一生懸命生きて忙しく、いじめ、虐待とか聞いたことも言葉もしらなかった。昭和30年8月矢巾村に家族5人で移転した当時は、一番大変な時期で地域の方々にはいろいろとお世話になりました。父母、弟はすでに他界しましたが、少しでも地域の皆さまに恩返しできる事が私の感謝の気持ちです。

これからも、元気に続けてまいります。

あしがき

新しい編集委員での3回目の発行となりました。議員となり広報紙づくりの難しさを実感しています。昨年は自然災害が続き、防災減災はどこにおいても重要課題です。より安全・安心なまちづくりのため、もっと広く意見を集め、考え行動していきます。

発行・編集責任者 議長 藤原 由巳
編集委員 委員長 水本 淳一
副委員長 廣田 清実
委員 藤原 信悦
吉田 喜博
小笠原佳子

〇表紙に寄せて〇
11月23日に開催された煙山保育園のお楽しみ会では、緊張しながらも堂々と発表する姿を見て、子どもたちの成長が感じられ胸が熱くなりました。